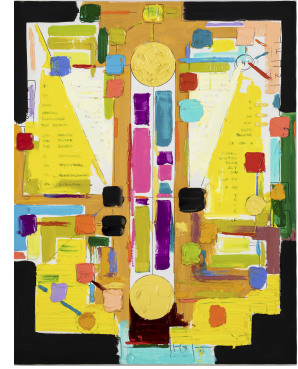


南 依岐

「YIN」

2022.6.19(sun) — 8.14(sun)



「ALAB-CL-RN-TOR-PtF-OPBKsL1.a5」 2022
Oil on canvas

この度 rin art association では南依岐の個展「YIN」を開催いたします。

南は「芸術の核」をテーマに独自のアルゴリズムを用いて絵画を制作しております。

南が用いるアルゴリズムとは、作品が完成するイメージを記号としてキャンバスに落とし込んだもので、それ自体が絵画の設計図として機能しており、構図、配色、神話などの作品のテーマから人生設計にいたるまで様々なものが描き込まれております。今展では南の代表作であるアルゴリズムシリーズの新展開をギャラリーの3フロアを使って展示いたします。

陰陽の^{かなた}彼方で

「YIN 陰」と冠された本個展で鑑賞者が最初に出逢うのは、
ともすれば「YANG 陽」を想起させるであろう白を基調とする作品であり、
また、その後も「YANG 陽」を想わせる色彩を纏った作品群が続いていく。

「芸術の核」の体現を志向する芸術家・南依岐にとって、
陰と陽とは、ともに、この「芸術の核」が現前する一つのあり方に過ぎず、逆に言えば、
この両者の原義的不可分性においてこそ、「芸術の核」は「芸術の核」たりえる。
白-黒、空-密、幾何-無^む碍、平面-空間といった諸概念を包摂した多様な表現形は、
紛うことなく、彼の作品群にこの不可分性を宿すことに成功している。

「芸術の核」の様々な表情と鑑賞者のまなざしが^{めぐ}環り合う場所で、
すなわち、未分の極致、あるいは陽、ゆえに陰において、
南依岐は「芸術の核」を追求し続けているのである。

野村将揮（哲学者）

南 依岐（みなみ いぶき）

1995年東京生まれ。アカデミーオブアート大学卒業後アメリカと日本を中心に活動。主な個展に "RISING" 西武渋谷美術画廊・B館8階(2020)、「TORUS」西武渋谷美術画廊・B館8階・ショーウィンドウ(2021)、「IMPULSE」阪急うめだ本店美術画廊(2021)、「TORUS-B」西武渋谷美術画廊・B館8階(2022)、主なグループ展に "constellation#02" rin art association (2021)、「Young Okazaki vol.01」Mtk Contemporary Art (2021)、「OKETA COLLECTION : THE SIRIUS」スパイラルガーデン(2022)など。

[水-日] 11:00-19:00 [月-火] 休廊

contact

rin art association

370-0044 群馬県高崎市岩押町 5-24

t:0273-87-0195 e:contact@rinartassociation w:http://rinartassociation.com